

道ばたに見る春の草たち

市街地の生きもの 広瀬重夫

アレチノギク／マメカミツレ



写真35 アレチノギクのロゼット葉
2月，灘区．



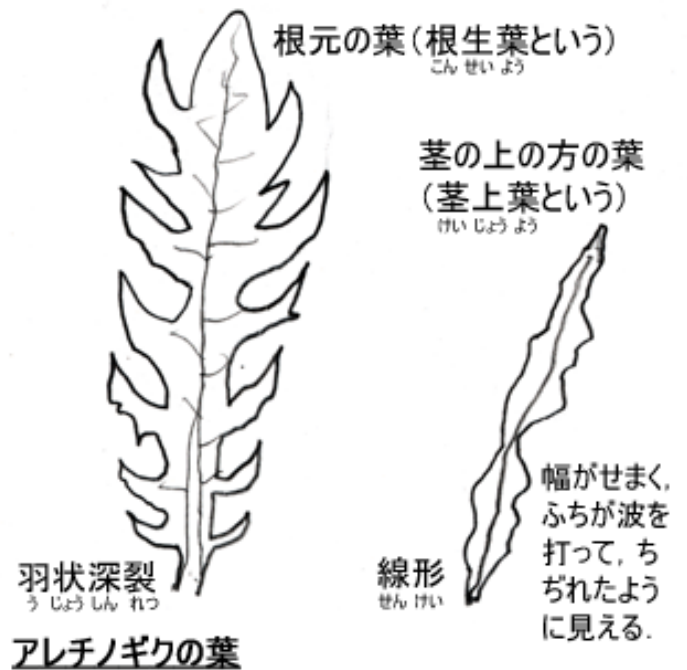
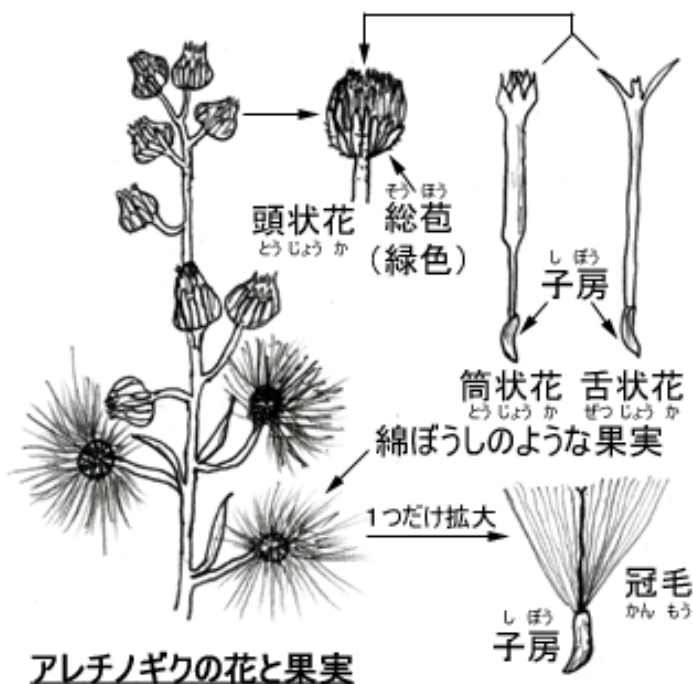
写真36 アレチノギク
2月，灘区．

■アレチノギク

アレチノギクのロゼット葉（写真35）には，花の芽を用意した茎がうずくまっています．まもなく立ち上がって花をつけることでしょう．

写真35のすぐ近くには，すでに茎を立ち上げ花をつけていました．石垣やコンクリートだらけの場所にもささやかな緑が息づいています．

似たものに，オオアレチノギクやヒメムカシヨモギがありますが，これらは夏に花をつけるので見まちがうことはありません．



<補足説明>

頭状花は直径5mmほど、とても小さな花がぎっしりつまっています。果実は綿ぼうしのように、直径1cmほど、汚れた感じの白い色をしています。冠毛の中心の濃く描いたところは舌状花です。子房(種子になる)は大げさに描くと少しひん曲がっています。冠毛をつけたパラシュート状の果実は、冠毛が約3mm、子房が約1mmの大きさです。舌状花と筒状花は冠毛を省略して描いています。花のつきかたは総状花序と言われます。

■マメカミツレ

マメカミツレは道ばたや公園の草地で見かけます。1939年、神戸でみつかったオーストラリア原産の植物です。世界に開かれた港神戸は、帰化植物の見本園みたいです。



写真37 (右) マメカミツレ
4月, 中央区.

[このページのPDFファイル](#)



トップページへもどる